

ふるさと吉野に愛着を持ち、感謝の心を表現できる子どもを育てよう
越前市吉野小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	0 回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ) 8 日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	115人
授業ボランティア(含:低ボラ)	283人
登下校支援ボランティア	約2,000人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ	「ふるさと教育」
-----	----------

具体的活動内容

◇ふるさと月間(10月)にふるさとに親しむために、次の2つの全校行事を行っている。
この取り組みは地域学校協議会で報告し、委員さん方にご意見をいただいている。

(1) 三世代交流行事スマイルフェスタ

本校では、学習発表会当日(10月第3土曜日)の午後、地域の老人会や教育振興会と協力し、盛大な三世代交流行事を行っている。3・4・6年児童は、クラスごとにみんな考えた様々な面白いコーナーを開設し、教育振興会も各部ごとにパルーンアートやストラックアウトなどのコーナーを開いている。その中には、地域の老人会の協力を得て、お年寄りから昔遊びや縄ないなどを教えてもらうコーナーもあり、地域のお年寄りと子どもたちが一緒になって活動を楽しむ姿が見られる。この行事は、子どもたちが、毎年楽しみにしており、地域とふれあう特色ある行事となっている。



この翌週には、自治振興会主催の地区文化祭が小学校、体育館、公民館で盛大に行われ、吉野地区の多くの子どもたちが参加している。

(2) 愛宕山ハイキング

児童会活動の中では、縦割り班による「愛宕山ハイキング」を行っている。

本校は、全児童を32班に分け、縦割り班活動を行っている。毎年秋に全校で「ふるさと山愛宕山」に登る活動を行っている。今年度は、10月31日に行った。この山の頂上からは、吉野地区一帯が広がりとても良い眺めである。今年は途中から雨が降ったが、子どもたちからは、「ワーすごい。私のおうちあそこ。」とか「芝原公園や、菊人形が見えるぞ。」と歓声が上がった。ふるさと吉野を身近に地域を感じる良い機会になっている。

他にも、総合的な学習や社会科の授業で、校内のふるさと資料室を活用している。

成果と課題

地域学校協議会では、ふるさと吉野に愛着を持ち、地域のために、また、人のために思いやりを持って行動できる子どもたちを育てる取り組みを話し合っている。夏季休業中のラジオ体操については、地域の協力を得て、子どもたちは8月31日まで取り組んでいる。地域とのつながりが深いので、地域の方々の関心も高く、いろいろな声が寄せられているが、あいさつなどの面が十分でないなどの課題も出ているので、地域と協力して育てていきたい。